

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

N, N-ジメチル-N-オキサイドドデシルアミンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

NMMP / E 9 8 / 4 1 0 0

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 203 「魚類毒性試験」 (1992年) に準拠して実施した。

| | |
|---------|---|
| 被験物質 | : N, N-ジメチル-N-オキサイドドデシルアミン |
| 方式 | : 半止水式 (24時間毎に換水) |
| 供試生物 | : ヒメダカ (<i>Oryzias latipes</i>) |
| 試験濃度 | : 対照区、9.5mg/L、17.1mg/L、30.9mg/L、55.6mg/L および100.0mg/L (公比1.8 設定濃度) |
| 曝露期間 | : 96 時間 |
| 試験液量 | : 3.0L |
| 生物数 | : 10 尾／濃度区 |
| 照明 | : 室内光、16 時間明／8 時間暗 |
| エアレーション | : なし |
| 温度 | : 24±1℃ |

結 果

試験の結果、N, N-ジメチル-N-オキサイドドデシルアミンの実測濃度の幾何平均値に基づく96 時間の半数致死濃度 (LC50) は29.9mg/L であり、その 95%信頼区間は24.2mg/L～41.4mg/L であった。